



## 6.2 口腔ケア物品の管理（フロア全体をレッドゾーンにした特別養護老人ホームの例）



### ● 動画の URL と QR コード

	<p><a href="https://youtu.be/aaj55EnYW60">https://youtu.be/aaj55EnYW60</a></p>	
---	--	---

- 動画の前提となっている状況
  - 特別養護老人ホームで患者（確定例）が発生し、複数の濃厚接触者が発生しているが、居室内で滞在できないため、やむをえずフロア全体をレッドゾーンとして管理している。
- この状況で目指すべき目標
  - 複数の使用済みの口腔ケア物品（入れ歯など）をまとめて管理する場合に、衛生的な管理ができる。
  - 洗浄と消毒の違いが理解できる。
  - ワゴンを適切に（上段→下段に従って清潔→不潔、適時清掃・消毒）使用できる。
- 動画で示されている手順の解説
  - 手袋の上から消毒する。
  - 使用済みで汚染した複数人の口腔ケア物品は、ワゴンの中段にのせて回収する。
  - 回収してきた口腔ケア物品をシンクで洗う。
    - ✦ **注意** 動画では口腔ケア物品を流水で洗い流しただけなので、洗剤で洗浄したり、消毒液で消毒するのと比べると汚染が残存した状態になっている。
  - 洗い終わったらワゴン上段で他の入所者の口腔ケア物品と接触しないように距離をあけて保管する。
  - 一旦手袋を消毒し、次の入所者の口腔ケア物品を洗う。
  - 作業が終わったらシンクを洗う。
  - ワゴンも定期的に消毒する。

6.3 おむつ交換（フロア全体をレッドゾーンにした特別養護老人ホームの例）

● 動画の URL と QR コード

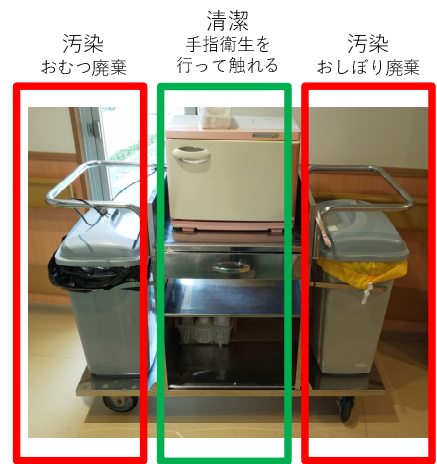
	<p><a href="https://youtu.be/6pncC0bL6Uk">https://youtu.be/6pncC0bL6Uk</a></p>	
---	--	---

● 動画の前提となっている状況

- 特別養護老人ホームで患者（確定例）が発生し、複数の濃厚接触者が発生しているが、居室内で滞在できないため、やむをえずフロア全体をレッドゾーンとして管理している。

● この状況で目指すべき目標

- 二重のエプロンと手袋の意味を理解し、適切なタイミング、適切な手技で着脱ができる。
- おむつ交換台の清潔・不潔の区別ができる。
- 自分が触る物品や環境表面と、手袋を着けた自分の手の清潔・汚染を認識して行動できる。
- 清潔で扱わなければならない物を触れる前に自分の手袋を消毒する。またはその物を消毒する。



● 動画で示されている手順の解説

- **ポイント** 【二重の手袋とエプロン】 平常時のおむつ交換では手袋やエプロンは一人ずつ交換する。この動画の条件ではフロア全体をレッドゾーンとしてすでにフル PPE を装着している状況なので、その上におむつ交換のために二重目の手袋とエプロンを装着する。複数の入所者のおむつ交換を行う場合は、二重目の手袋とエプロンを交換しながら行う。

☆ この方法（二重に装着）のメリットとして、おむつ交換の途中で別の用件が発生した場合に二重目の手袋とエプロンを脱いで一重目のフル PPE で速やかに対応できることがあげられる。

- 手袋消毒をして、二重目のエプロンを着る。
- 手袋消毒をして、二重目の手袋をつける。
- おむつ交換で使用するおしぼり、おむつ、ゴミ袋を取り、患者のもとへ行く。
- あらかじめゴミ袋は入所者の足下で広げておき、おむつ交換を行う。
- 交換したおむつを入れたゴミ袋とおしぼりを持っておむつ交換車に戻り、捨てる。

☆ おむつ交換車の中央（未使用物品保管エリア）は清潔、両端（おむつ廃棄およびおしぼり廃棄容器エリア）は不潔という認識で行動する。

- 手袋消毒をして、二重目のエプロンを脱ぐ。
- 手袋消毒をして、二重目の手袋を脱ぐ。

● おむつカートの管理については p.20 も参照のこと。

#### 6.4 入浴介助（フロア全体をレッドゾーンにした特別養護老人ホームの例）

- 動画の URL と QR コード

	<a href="https://youtu.be/eQfkZ8ky6v4">https://youtu.be/eQfkZ8ky6v4</a>	
---	---	---

- 動画の前提となっている状況
  - 特別養護老人ホームで患者（確定例）が発生し、複数の濃厚接触者が発生しているが、居室内で滞在できないため、やむをえずフロア全体をレッドゾーンとして管理している。
- この状況で目指すべき目標
  - 職員が入所者から感染しない（主に目の防護）。
- 動画で示されている手順の解説
  - **注意** 入所者がマスクを装着できない場合、入所者の新型コロナウイルス感染の有無に関わらず、平常時でも職員はマスクに加えてフェイスシールドやゴーグルなどで目の防護を行う。
  - 介助時は、入所者の横や斜めに位置取り、なるべく対面を避ける。